

inSANE

マルチジャンル・ホラーRPG インセイン シナリオ

羊を数える

ver.1.2

ライティング：アルバガルド



シナリオタイプ：協力型
セッティング：本当は怖い現代日本

リミット：3
プレイヤー人数：2

使用サブリメント：
なし



トレーラー

それは眠りを呼び起こす古よりの儀式。

閉じたまぶたの内側で、想像上の羊を数える。

「羊が一匹、羊が二匹……」

しかし、あなたはきちんと考えたことがあるだろうか。もしもそんな大量の羊が本当にいたらどうなるか。それがあなたの頭から迷い出てきてしまったら……？

羊を数えて、眠りについて数時間。寝苦しさに目をさますと、なんと部屋いっぱいに羊があふれていた。この羊たちときたら本は食べるし、喧嘩ははじめるし、毛皮はもこもこだし……。

ああ、羊なんて数えるんじゃないかった！

HANDOUT

名前：PC①

使命

あなたはPC②と同じ寝室で寝起きしている。数時間前、どうも寝つけなかったあなたは、羊を数えながら、なんとか眠りについた。しかし深夜、奇妙な鳴き声と獣の体臭によって起こされてしまう。目を開くと部屋いっぱいに羊があふれていた。あなたの【使命】は羊をなんとかすることだ。

HANDOUT

名前：PC②

使命

あなたはPC①と同じ寝室で寝起きしている。数時間前、どうも寝つけなかったらしいPC①は「羊が一匹、羊が二匹……」と唱えはじめた。そのかたわらで、あなたもじきに眠りについた。しかし深夜、奇妙な鳴き声と獣の体臭によって起こされてしまう。目を開くと部屋いっぱいに羊があふれていた。あなたの【使命】は羊をなんとかすることだ。

背景

古い時代、羊飼いのあいだでは、夢の牧人と呼ばれる神が信仰されていました。夢の牧人は捧げられた生け贄を羊へと変え、人の夢から夢へと連れ歩いているのです。

羊たちはおおむね牧人に従順です。しかし羊を数える声を聞くと、牧人の呼び声と勘違いして、現実世界へとさまよいでてしまうことがあります。

PC①が羊を数えたことで、羊たちはPCたちの寝室にあらわれます。このまま放置しておくわけにはいきません。なにしろ牧人が飼うおそろしい牧羊犬は、羊泥棒をけっして許さないのです。

事態を解決するためには、正確に羊を数えて、夢の牧人に返す必要があります。羊を数えることから始まった災難は、羊を数えることで終わりを告げるのです。

狂気

このシナリオでは以下の8枚を使用します。

『インセイン』収録：「疑心暗鬼」「広がる恐怖」「パニック」「いきすぎた想い」「フェティッシュ」「血への渴望」「怪物」「潔癖」

シーン表

このシナリオでは「羊シーン表」を使用してください。

特記事項

本シナリオに登場する夢の牧人は、まったく架空の信仰です。

導入

PC①とPC②は同じ寝室で寝泊まりしています。家族、恋人、たまたま泊りにきた友人などの関係が適しているでしょう。

その晩、PC①は目がさえてしまい、なかなか眠ることができませんでした。時計の針の音がコツコツとひびき、時間だけが過ぎていきます。そこでPC①は古い言い伝えのとおり、「羊を数える」ことに決めました。

まぶたの裏に羊を思い浮かべ、彼らが柵を乗り越えるたびに、「羊が一匹、羊が二匹……」と数えるのです。

この単純作業は眠りを呼び起こすことに成功しました。結局、羊を何匹まで数えたのかはおぼえていません。夢の中でも羊を数えつづけたような気もします。

それから数時間後、まだ朝がきていないのにPC①とPC②は目覚めてしまいます。なんだか耳元がうるさいのです。それになにかひどい異臭がします。まるで動物園の檻の中にほうりこまれたかのようなのです。

それに全身をこするこのふわふわあたたかな毛皮の

感触はいったい……？

PC①とPC②があたりを見回すと、なんとベッドの上に数匹の羊がのっています。いえ、ベッドだけではありません。部屋中いっぱい本物の羊がひしめいているのです！

PC全員は《驚き》で恐怖判定を行ってください。羊たちはすっかり窮屈になった寝室のなかで、好き勝手にふるまっています。

もちろん、野生の羊の群れが迷い込んだ……ということはありません。PCたちの家の近くにそんな羊はいませんし、部屋のドアはぴたりと閉じています。ひとまず羊を外に出そうと考えるかもしれませんが、群れはPCたちの家から出て行こうとしません。

ではいったいどうすれば……？

「羊」のハンドアウトを公開してください。これで導入フェイズは終了です。



メインフェイズ

以下のマスターシーンが発生します。

羊が多すぎる

1 サイクル目の 1 シーン目に挿入されるマスターシーンです。

見慣れない場所に来てしまったせいか、羊たちは興奮状態です。部屋中あちこちを歩き回り、思う存分ひっかきまわしています。

PC①はとくに羊たちに気に入られているようです。何匹かの羊が膝下にすりよってきて、歩くことさえままなりません。

PC②がGMにプライズ「メエリンガル」を返した場合、GMはプライズ「羊たちの会話①」を渡してください。

異形の遠吠え

2 サイクル目の 1 シーン目に挿入されるマスターシーンです。

PCたちが羊たちに悪戦苦闘していると、どこからか遠吠えのようなものが聞こえてきます。それは魂を芯から凍えさせる、なにかおそろしいものを感じられます。耳をふさいでも、なぜか効果がありません。

PC全員は《物音》で恐怖判定を行ってください。
しばらくたつとまた同じ鳴き声が聞こえます。どうやらそれは、この部屋に近づいてきているようです…。しかしどういうわけか、室内の羊たちにとくにおびえた様子はありません。

「遠吠え」のハンドアウトを公開してください。

PC②がGMにプライズ「メエリンガル」を返した場合、GMはプライズ「羊たちの会話②」を渡してください。

うとうと

3 サイクル目の 1 シーン目に挿入されるマスターシーンです。吠え声はもうすぐそこまで近づいてきます。あたりには羊のものとはちがう、獣臭が漂いはじめます。しかし人間たちの緊張の高まりとは裏腹に、羊たちはのんきなもの。

部屋の探索につかれたのか、あるいは部屋の中が安全であることを確信したのか。動き回るのをやめて、うとうとし始めます。

今は深夜。羊も本来なら眠りの時間なのです……。

PC②がGMにプライズ「メエリンガル」を返した場合、GMはプライズ「羊たちの会話③」を渡してください。もしPC②がプライズ「メエリンガル」を所持したまま手放そうとしない場合、「このまま進めてかまいませんか？」と念を押してください。



クライマックス

クライマックスになると、ついに牧羊犬が部屋の片隅から現れます。その姿はとても醜悪で、本物の犬にはあまり似ていません。筋肉は奇妙にねじくれ、体表がぼこぼこことあわだっています。PC全員は《混沌》で恐怖判定を行ってください。

牧羊犬と戦闘を開始してください。牧羊犬はまずPC②を狙いますが、PC①が邪魔しようとするなら、PC①も攻撃の対象とします。PCが「夢の牧人」の【秘密】を得ていたならば、同時に儀式「羊を数える」を行うことができます。



牧羊犬

脅威度: **5** 属性: **生物/怪異** 生命力: **15** 好奇心: **暴力**

特技

《破壊》、《脅す》、《におい》、《夢》

アビリティ

【基本攻撃】 攻撃 《夢》

【連撃】 攻撃 《破壊》

自分が攻撃を行い、攻撃の目標が回避判定に成功したときに使用。攻撃の目標はこのアビリティの指定特技でもう一度判定。失敗すると攻撃は命中したことになる。

解説

夢の牧人に仕える牧羊犬。古代、羊飼いのいない羊の群れとの遭遇は、凶兆と考えられていた。というのもそれは羊飼いが羊を残して突然死した原因が、まだすぐ近くにひそんでいる可能性を意味していたからだ。この牧羊犬はそうした見えない脅威が、伝説となったものであると考えられている。

儀式「羊を数える」に成功したなら、GMはプレイヤーに「羊の数はぜんぶでちょうど 100 匹」と教えてください。

結末

PCが「迷える 100 匹、御身にお返しします」と唱えると、牧羊犬は動きをとめます。すでに倒されていたならば、しずかに起き上がります。

そして流暢な人語で「嘘を言うな。この家にはしるしが 101 個あるぞ」と返します。余分な 1 個はプライズ「渦巻き角のしるし」の事です。プライズの【秘密】までは牧羊犬も知りません。

PCが「迷える 101 匹、御身にお返しします」と唱えた場合は、PC①を見定めるかのように、じっと見つめてきます。

しかしどちらの場合でも、牧羊犬は頭をふって、「そいつはまだ死んでいない。今は預けておこう」と言いのは、そのまま消えていきます。生け贄が羊になるのは、死んだあとなのです。羊もいつのまにかみんななくなっていました。PCたちの【使命】は達成されます。

牧羊犬を倒したものの、儀式「羊を数える」に成功しなかった場合、PCたちのもとには羊の群れが残ります。どう処分するかはプレイヤーが話し合って決めてください。その内容によって【使命】が達成されたか、判断してください。

プライズ「渦巻き角のしるし」の【秘密】を知ったPC①が、その力を行使するなら結末はいかようにでも変わります。羊と牧羊犬はPC①の正体を悟ると、素直にその言葉に従います。

夢の牧人の崇拝者であるPC①の父親は「ああ、ついに目覚められたのですね」と大喜びします。PCたちの【使命】は達成できます。



羊を数える

■段階1：羊を数えはじめる

【指定特技】 《追跡》

【参加条件】 全員

【ペナルティ】

なし。

■段階2：羊を数えつづける

【指定特技】 《整理》

【参加条件】 全員

【ペナルティ】

この判定に失敗すると【生命力】と【正気度】をそれぞれ1点失う。

■段階3：羊を数えおわる

【指定特技】 《数学》

【参加条件】 全員

【ペナルティ】

この判定に失敗すると【生命力】と【正気度】をそれぞれ1点失う。

解説

部屋いっぱいの羊を正確に数えるための儀式。





羊シーン表

- 2 唐突にウールのセーターがほしくなる。
- 3 『メリーさんのひつじ』をふたりで合唱する。たのしい。
- 4 そ、それはダメ！ 羊が大事な本を食べはじめる。
- 5 羊が顔をなめてくる。うっ、べとべとする。
- 6 羊の群れがのしかかってきて、つぶされる。こんな死にかたはいやだ……。
- 7 めえめえ！ とにかく羊の鳴き声がうるさい。
- 8 足下を見たらよちよち歩きの子羊がいた。かわいい。
- 9 ねえ、何匹かヤギが混ざってない……？
- 10 雄羊同士が角で喧嘩をはじめ。ああ、争わないで……！
- 11 羊たちの排泄物で床が大変なことになってしまう。
- 12 唐突にジンギスカンが食べたくなる。

HANDOUT

名前：P C ①

使命

あなたはP C ②と同じ寝室で寝起きしている。数時間前、どうも寝つけなかったあなたは、羊を数えながら、なんとか眠りについた。
しかし深夜、奇妙な鳴き声と獣の体臭によって起こされてしまう。目を開くと部屋いっぱいに羊があふれていた。
あなたの【使命】は羊をなんとかすることだ。

あなたの身体には、昔からちいさなアザがある。アザと呼んではいるが、その模様には明確なデザイン性を感じる。
あなたの父親はこれを「羊の渦巻き角」と言っていた。あなたは父親がこのタトゥーをいれたのではないかと疑っている。しかしやさしい父親が、なぜこんなものを幼い子どもの肌にいれたのかかわらない……。
あなたはプライズ「渦巻き角のしるし」をもっている。

ジョック
なし

この秘密を自分から
あきらかにすることはできない。

秘密

HANDOUT

名前：P C ②

使命

あなたはP C ①と同じ寝室で寝起きしている。数時間前、どうも寝つけなかったらしいP C ①は「羊が一匹、羊が二匹……」と唱えはじめた。そのかわらで、あなたもじきに眠りについた。
しかし深夜、奇妙な鳴き声と獣の体臭によって起こされてしまう。目を開くと部屋いっぱいに羊があふれていた。
あなたの【使命】は羊をなんとかすることだ。

まさかこれを使う日が来とは思わなかった……あなたは羊語翻訳装置であるプライズ「メエリンガル」をもっている。

GMは各サイクルの冒頭のマスターシーンで、羊の様子を描写する。あなたはそのときプライズ「メエリンガル」をGMに渡すことで、かわりにプライズ「羊たちの会話」を手に入れることができる。

ただしプライズ「羊たちの会話」の内容は各サイクルごとに異なる。

ジョック
なし

この秘密を自分から
あきらかにすることはできない。

秘密



HANDOUT

名前：羊

概要

寝室いっぱいひしめく羊。うるさいし、匂う。ちょっと数えただけでも物理的に寝室に入るはずがない数がある気がする……。

拡散情報。羊毛をかき分けると、すべての羊の肌に同じマークがついていることがわかる。

ハンドアウト「焼き印」を公開する。

ショック
なし

この秘密を自分から
あきらかにすることはできない。

秘密

HANDOUT

名前：夢の牧人^{まきびと}

概要

ヨルダン川のほとり、カナン地域の古い土着信仰。人の夢から夢へと、羊を連れて歩いている。信徒を羊になぞらえる聖書の修辞法は、この伝承に由来するという説もある。のちにアッシリアやイスラエルの信仰と習合し、衰退したというが……。

眠りぎわに羊を数えると、牧人の羊たちは飼い主の呼び声と勘違いして、夢から迷い出てしまう。

羊を返すには迷いでた羊を正確に数え、

「迷える——匹、御身にお返しします」

と唱える必要がある。

PCはクライマックスで儀式「羊を数える」を実行できる。

ショック
なし

この秘密を自分から
あきらかにすることはできない。

秘密

HANDOUT

名前：焼き印

概要

羊に刻まれた焼き印のようなもの。ぐるりとなにかが渦を巻くようなかたちをしている。なんのマークだろう？

拡散情報。古代の羊飼いたちの信仰、夢の牧人のしるし。この古き神の祭祀では、子どもをささげる人身御供が頻繁におこなわれていた。そのとき生け贄にはこの焼き印が押されたのだ。しるしを刻まれた生け贄たちは死後、牧人の飼う羊となり、夢の中で生きることになるという。

《夢》で恐怖判定を行う。

ハンドアウト「夢の牧人」を公開する。

ショック
全員

この秘密を自分から
あきらかにすることはできない。

秘密

HANDOUT

名前：遠吠え

概要

どこからか聞こえるおぞましい遠吠え。しかしどんどん近づいてくる。

夢と現実を移動する牧羊犬の鳴き声。夢から迷い出た羊を連れ戻すことを【使命】としている。

その性格は獠猛で、羊泥棒を確実に追いつめて殺す。逃れることはできない。

《死》で恐怖判定を行う。

ショック
全員

この秘密を自分から
あきらかにすることはできない。

秘密



HANDOUT

プライズ：渦巻き角のしるし

概要

PC①の肌に描かれたあざ。もしくはタトゥー。羊の渦巻き角が図案化されている。

このプライズの【秘密】はクライマックスでのみ、見ることができる。ただしそのときPC①の【生命力】が2以下でなければならない、かつ行動不能であってはならない。

危機に瀕したPC①は、真の力に目覚める。これはタトゥーではない。羊飼いたちの古き神、夢の牧人……その現し身であることをしめす聖なるアザだ。

このプライズの【秘密】を知ったPC①は、夢の牧人に従属する存在すべてに自由に命令が可能になる。また現実と夢とを自由に移動できる。PC①は超次元の存在であり、もはや人のくびきにとらわれる必要はない。

逆にこのままにも知らないふりをして、人としてふるまってもよい。

ジョック
なし

この秘密を自分から
あきらかにすることはできない。

秘密

HANDOUT

プライズ：羊たちの会話②

概要

「あつ、またあいつが吠えてる。ほんと、嗅ぎつけるのはやいなあ」

「でも、俺たちには手出ししないから、怖くなんてないよ」

「しないんじゃない。できないんだ。だってそういう命令だから」

あの鳴き声の主は、羊には手出しできないらしい。ということは羊の群れの中に隠れば……？

持ち主がエネミーからダメージを受けたとき、一度だけダメージを0にすることができる。

HANDOUT

プライズ：羊たちの会話③

概要

「ふわあ……あいつうるさいなあ。おちおち眠れやしないよ。そんなに鳴かなくても逃げたりしないって」

「失礼しちゃうよね。僕たちお行儀よい羊なのに」

「指でびーって鳴けば、きちんとならぶもんね」

どうやら羊たちは指笛をふくと、並ぶようにしつけられてるようだ。

シーン内のPCが羊を数える行為判定に失敗したときに一度だけ宣言できる。その行為判定をふりなおす。

HANDOUT

プライズ：メエリンガル

概要

PC②の枕元にほっぽってあった羊語翻訳装置。羊がなにをしゃべっているかわかる……らしい。とはいえ羊と話す予定はなかったので、バッテリーが心もとない。一回使えば、充電が切れるだろう。

HANDOUT

プライズ：羊たちの会話①

概要

「むぎゅう、せまい。なんてちいさな草原なんだ」

「でもこの人間からは、俺たちと同じにおいがするぞ。いいにおい！」

「ねえねえ。こんなの見つけちゃった。これもこの人間とおんなじ匂いがするぞ。もぐもぐ」

「あ、いーなー」

って今、羊がおもちゃにしての……PC②がPC①に送ったプレゼントじゃないか！ 返しなさい！

このプライズを最初に得たPCはお守りをひとつ得る。

ライターコメント

本シナリオは河嶋陶一朗／冒険企画局『マルチジャンル・ホラーRPG インセイン』の二次著作物です。



ライティング：アルバガルド

twitter アカウント：@Alba_gard

ぜひプレイした感想、今後の要望などメッセージをお寄せください。

また以下をはじめとしたフリー素材を使用しています。謹んで、お礼申し上げます。

ICOON MONO <http://icoon-mono.com>

シルエット AC <http://www.silhouette-ac.com/>